

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

| | | | |
|-----------|------|-----------|------|
| (H.25)No. | 1228 | (H.24)No. | 1228 |
|-----------|------|-----------|------|

| | | | |
|----------|-----------------|-------|--|
| 事務事業名 | 子ども支援ネットワーク構築事業 | | |
| 担当部局名 | 担当室名 | 室長名 | |
| 教育委員会事務局 | 学校教育室 | 和南 義一 | |

| | | |
|---------|-----------------|--------|
| 会計区分 | 事業コード | 467501 |
| 一般会計 | (中事業名) | 予算書事業名 |
| 款 教育費 | 子ども支援ネットワーク構築事業 | |
| 項 教育総務費 | (小事業名) | |
| 目 教育振興費 | 子ども支援ネットワーク構築事業 | |

1. 事務事業の位置付け

| | | | |
|---------|------|---|-------------------------|
| 総合計画 | 政策 | 1 | 互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし |
| | 基本政策 | 1 | 人を大切にする社会の創造 |
| | 施策 | 1 | 人権尊重 |
| | 小施策 | 2 | 人権・同和教育の推進 |
| 重点施策コード | | | |

2. 事務事業の概要

| |
|--|
| 事業目的(めざす効果) |
| 教育的に不利な環境のもとにある子どもの学力向上を支えるため、いじめなどの背景にある問題を解決し、未然に防止するための地域連携の仕組みを構築し、子どもたちの自尊感情や学習意欲の向上を図る。 |
| 事業内容 |
| 市内各校において、児童生徒の学力保障の基盤にある自尊感情や学習意欲に関わってさまざまな課題がある中、赤目中学校区をモデル地域としながら、子どもたちの自尊感情や学習意欲を高め、学びを保障するための取組を行う。特に、人権教育推進協議会を中心として子ども、保護者、地域住民等多様な主体が一緒に取り組むために「子ども支援ネットワーク委員会」を設置し、連携体制を構築する。具体的には、講演会・体験活動・環境整備・美化作業・親子学習会・子ども教室等を予定している。 |

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

| | H.24年度(事業量・取組実績) | H.25年度(事業量・取組計画) |
|------------|--|---|
| 主な事業の実績・計画 | ・講演会・体験活動等講師謝金:436千円 ・消耗品:564千円 (読み聞かせに関わる図書・環境整備に関わる道具・教材等に関わる用紙・インク代等) | ・講演会・体験活動等講師謝金:380,000円 ・体験活動・環境整備等に関わる消耗品費:480,000円 |

| H.26年度(事業計画) | H.27年度(事業計画) | H.28年度(事業計画) |
|--------------|--------------|--------------|
| | | |

| | H.24年度(決算見込) | H.25年度(作成時予算額) | H.26年度(計画予算) | H.27年度(計画予算) | H.28年度(計画予算) |
|---------------|----------------------|----------------|--------------|--------------|--------------|
| 直接事業費 | 1,000千円 | 860千円 | | | |
| 内訳(千円) | | | | | |
| 国・県支出金 | 1,000 | 860 | | | |
| 地方債 | | | | | |
| その他() | | | | | |
| 一般財源 | (0) 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 人工数 | | | | | |
| 職員 | 0.10人 | 0.10人 | | | |
| 臨時職員等 | | 0.01人 | | | |
| 概算人件費 | (0千円) 770千円 | 787千円 | 0千円 | 0千円 | 0千円 |
| + 総事業費 | (0千円) 1,770千円 | 1,647千円 | 0千円 | 0千円 | 0千円 |

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

| | |
|--|---|
| 考察(H.24年度の取組評価、課題) | 今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容) |
| ・学校と地域が緊密に連携し、子どもたちの自尊感情を育み、学習意欲の向上へとつなぐ取組の一翼を担うことができた。 ・「学校間を越えて、中学校区一体となって」という部分の取組が少し弱かった。 | 学校と地域住民がうまく連携をし、中学校区が一体となって、地域の力を教育現場で生かせるよう今後も取組んでいく必要がある。 |

| 点検項目 | 内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容) |
|--|---|
| (1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか A(2つ以上の施策指標達成に貢献又は基本方針達成に特に貢献) | ・中学校区単位で、地域に開かれた特色ある学校づくりを進めることができた。 ・児童生徒の学習意欲の向上・学力の向上を図ることができた。 |
| (2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 実践している(実践内容を記載) | 多様な主体の代表者が、子ども支援ネットワーク委員会のメンバーとなり、ともに活動をしている。 |

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

| | |
|--|-----------------------------|
| [選択肢] 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む) | 事業完了(予定含む) |
| 具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由 | 6. 事務事業の取組に関する主な市の計画 |
| モデル事業は、1中学校区1年間の取組ではあるが、モデル事業終了後も継続して取組むことが必要である。 | 名張市教育ビジョン 名張市次世代育成支援行動計画 |